

自然教室だより

自然教室チーム 平城宮跡「燕の罫入り」報告

8月23日(火)は、二十四節気の「処暑」に当たり、昔からこの日を境に夏の暑さも次第に和らぐといわれていますが、この日も厳しい残暑に見舞われました。そうした中、自然教室チームでは、この時期恒例の「燕の罫入り」観察会を平城京跡で開催いたしました。



【ヨシ原に直行】



【ツバメはどこに】

当日の参加者は会員13名にご家族、お友達を含めた15名。集合時間の午後4時から午後6時半までは、のんびりと休憩を挟みながら、タデ科植物はじめ秋の植物を観察しました。

しかしながら、本日のメインイベントは何といっても「燕の罫入り」午後6時半からの参加者は全体の半数近くにのぼりました。日没間際、雲間に見える太陽は一段と輝きを増し、あたりを黄金色に染めます。それを合図に燕の一団が続々登場、いきなりのクライマックスを迎えました。



【今年は特に多いね】



【燕およそ6万羽の大群】

この日は取材に来ていたNHKのクルーに遭遇。まさかと思っていたら、案の定、二日後のニュースでオンエアされてしまいました。

確かにこれまでを遙かに凌ぐ燕の数との印象を持ちましたが、ニュースではその数6万羽と発表されており、思わず納得してしまいました。

この記事が掲載される頃にはツバメたちも旅路に就いていると思いますが、また来年、皆様も是非一度自然が織りなすこの壮大なスペクタクルを自分の目で確かめて下さい。(辻本 信一)

佐保台小学校・昆虫観察会 実施報告

9月7日(水)佐保台小学校放課後子供教室の子供達を対象に昆虫観察会を実施しました。昨年は台風の為やむなく中止、子供達をがっかりさせました。今年も前日までは雨の予報、昆虫採集に代え体育館内での昆虫クイズ実施も検討しましたが、子供達の熱意が伝わり雨雲も退散、熱中症が心配になるほどの好天となりました。



【みんなで記念撮影だよ】

【バッタが沢山！！】

参加した子供達の数は54名。それに対し私達スタッフは10名で佐保台小学校からも6名のコーディネーターの方が参加してくれました。

校庭での昆虫採集では左右二手に分かれ昆虫を挟み撃ち。子供達の手により次々に虫たちが捕まえていきます。あつと言う間に虫かごは昆虫でいっぱい。捕まえた昆虫は教室に戻ってみんなで観察しました。トノサマバッタ、マダラバッタ、ショウリョウバッタ、ハラヒロカマキリ、ウスバキトンボ、ホシササキリ、ヒナバッタ、コバネイナゴ、等々、30種近い昆虫を採集。観察後は全部の虫を窓から逃がしてやりました。



【昆虫博士に聞き入る】



【とんぼのめがね合唱】

その後二部屋に分かれブンブンゼミの工作。みんな思い思いに羽根の型紙に絵をかいてもらい、動眼と羽根を本体に糊付けして完成。松脂を塗った楯棒にひっかけ、勢いよく回すとセミの声そのものの音が聞こえ、みんな満足の表情。最後には童謡「とんぼのめがね」を全員で合唱。楽しい一日が終了いたしました。学校のコーディネーターさんと自然教室チームの協力でスムーズに進み、大変有意義な放課後教室でした。(辻本信一)